

医療の隙間を埋める ～ 誰にでもできる『言葉の処方箋』 ～

2025 年 11 月 9 日 ひばりヶ丘駅 ―> (西武池袋線) ―> 池袋駅 ―> (JR 山手線) ―> 日暮里駅 ―> (JR 常磐線) ―> 龍ヶ崎市駅 に赴いた。龍ヶ崎市多世代交流センターでの【講演会・パネルディスカッション ～ 医療の隙間を埋める ～】(画像)に出席した。

チラシには、『言葉の処方箋とは?』

言葉の処方箋は、お金もかからず副作用もない誰にでもできる処方箋です。がん哲学外来の提唱者の樋野興夫先生に解説して頂きます。

と、紹介されていた(画像)。

館長の『ご挨拶』ではじめられ、下記で進行された。

樋野興夫先生 & 中野綾子(がん哲学外来あびこカフェ代表)氏 対談

中野綾子氏の多数の真摯な質問には、大いに感動した。筆者は【使命とは『命を使う』& 死とは『命を使いきること』】また、筆者の『新渡戸稲造(1862-1933) 壁を破る言葉：逆境に立ち向かう者へ 40 のメッセージ』（三笠書房）の箇所から【『それでも笑う』ことが大事である & 大事なのは『終着点』でなく、『旅の途中』である】も、さりげなく語った。大変充実した対談の時であった。

『My レジリエンス story』

嶋田弥生氏 (画像)

『がん哲学外来カフェとは?』(画像)

小林松栄氏、小林加代氏、多胡俊彦氏

『ピアノ演奏』

みんなで歌「手のひらを太陽に」

筆者の『総評』で終了した。

会場は多数の参加者であった。大変貴重な忘れ得ぬ時となった。

参加費
無料

講演会・パネルディスカッション

～医療の隙間を埋める～

日程 2025年11月9日（日）

時間 14：00～15：30

会場 龍ヶ崎市多世代交流センターRINK
コミュニティホールA・B



「言葉の処方箋とは？」

講師：樋野興夫先生（順天堂大学名誉教授）

言葉の処方箋は、お金もかからず副作用もない誰にでもできる処方箋です。がん哲学外来の提唱者の樋野興夫先生に解説して頂きます。

司会：中野綾子（がん哲学外来あびこカフェ代表）

それぞれの体験談

「MyレジリエンスStory」

嶋田弥生さん 乳がんサバイバー
がん哲学外来市民学会事務局
がんを告知されてからどのように気持ちを乗り越えてこられたのか…

「がん哲学外来カフェとは？」

がん哲学外来カフェに参加されている方の体験談



関東鉄道電ヶ崎線 電ヶ崎駅より徒歩10分
※ お車の方は市役所駐車場をご利用ください

お問い合わせ・お申し込み ☎ 0297-63-2660

龍ヶ崎市多世代交流センターRINK
茨城県龍ヶ崎市3543番地 龍ヶ崎市役所保健福祉棟3F

お申込みフォーム



主催 / 龍ヶ崎市多世代交流センターRINK
協力 / がん哲学外来あびこカフェ

